

かながわビジネスオーディション2014 最終審査 発表ビジネスプラン概要

発表時間	14:35~14:50	No. 7	ビジネスプラン名	栽培プロセス制御による高生産性農業事業化プロジェクト
法人名・個人名	㈱同位体研究所		代表者役職・氏名	代表取締役 塙 章
住所	神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター103		電話	045-718-5457
HPアドレス	http://www.isotope.sc		メール	test@isotope.sc
事業の背景・ねらい	①TPPや東日本大震災を背景に国内農業を取り巻く環境が一層の厳しさを増す中で、厳しい国際競争の中で、生き残りの為に高生産性農業へ脱皮が必要となる。②本事業は、既存の生産設備を利用した作物栽培プロセス制御による品質安定・高収量(高生産化)を狙う。③中小規模生産施設を統合する事で、高生産性・地域集積化による大規模生産を構築し、生販一貫事業を構築する。			
経営理念・目標	① 既存農業施設の有効利用による低投資で地域の農業生産・コミュニティの維持振興・活性化を図る。② 遠隔プロセス自律制御により就労時間を短縮し、生産性を向上。収益ある農業を創出する。③ 遠隔プロセス自律制御により品質安定化、30%以上の収量の増大及び高精度の収穫時期・品質予測を達成する。④ 中小生産施設を統合し、生産を集約。「みなし大規模生産化」による生産販売一貫体制とする。			
事業概要	①既存温室施設にセンサー・換気・給水・送風・CO2補填制御装置を装着し、ネットを介した遠隔制御により栽培プロセスを最適化。栽培プロセスをプログラム化し、予測関数とセンサーフィードバックに基づく自律制御化。② 植物生体センサー(光合成・体内水分)を備え制御と生体反応フィードバックによる制御を実施。③ 1ハウス当たり30万円程度の低投資による栽培制御システムを中小規模栽培者にランチャイズで提供。④単一地域に生産施設を集約し、安定品質の農産物生産を確保し、生産流通の一貫した事業を行う。			
事業概要図				
目標売上高	平成25年度	0千円	平成26年度	18,400千円
	平成27年度	115,875千円	目標達成期	347,625千円
今後の課題と対策	① H26.1には、実証データに基づく制御アルゴリズム「トマトプラントモデル」を開発する。(初期型)② H26.2より試験販売を目的とする実証栽培を開始。H26春以降、実際の流通試験を行い、収量・品質実証検証を実施③ 実証栽培による栽培データより予測関数に基づく栽培制御のプログラムの精度向上が今後の要となる。④ H26夏よりイチゴの栽培モデルを追加する。			